

第73回東葛しぜん観察会

夏休み！虫と遊ぼう in 金杉 2011

酒井和博（習志野市）

日時：2011年8月7日（日）9:30～12:30 天気：晴

場所：金杉緑地～市営馬込霊園（船橋市）

参加者：大人15名、小学生8名 幼児5名 指導員16名 合計44名

担当指導員：林信子 塚原晃子 酒井和博

・・・船橋市に残された自然度の高い（森あり、水辺あり、田んぼあり）金杉緑地でいろいろな昆虫との出会いを楽しみませんか？・・・

夏休み真最中の主人公＝少年少女たちが、「ぐるっと千葉」、「広報ふなばし」等から“虫遊び募集”の情報をキャッチ、いそいそと来てくれました。金杉十字路をガイドマークに、県道夏見・小室線のバス停「金杉緑地」に到着。手に手に捕虫ポールを携えて、みなさん気合が入っています。

金杉緑地はマンモス団地と新興住宅のすぐ隣の森。入口から高い樹林の小道を下りて行くと… 森の中の空気は日照を遮ってくれたが、やはり暑い。まず、森のシャンデリア「エゴノキ」が多数迎えてくれます。5月にはエゴノキの木々が白く満開に咲いていました。8月の今は、小粒の果実が鈴なりに垂れ下がっていた。サポニンを含むから昔はセッケンで洗えた…と言いたかったが、子どもたちは既に虫以外に眼中なし！

森の中では、赤・黄・緑のバンダナで3班に分かれ「虫のことは任せなさい！」と頼みの3講師が熟知のポイントを熱心に説明して下さいました。ケヤキの大木を根城に「タマムシ」、「ウスバカミキリ」が幹の割れ目にいるとのこと。「エノキ」の主幹にもアリがせわしなく群がっていた。甘い甘露が出るためか？

森の出口に至ると、急に明るくなり眩しい景觀に変わります。早速楽しい昆虫採集がはじまりました。斜面林のわき道を道草して歩きまわり、みんな夢中です。「先生、何とったの？」「オニヤンマ」「ぼく、欲しいな！」… 広い野原へと案内すると、クロアゲハからバッタなどまで、存分に虫捕りができました。

本日の講師から、虫の特徴や生活のお話をしてもらい、次いで捕まえた虫の「虫あわせ」の学習。小学生の虫博士にはクイズにもチャレンジ。「私はだーれ？ 好物はアブラムシです」。担当指導員が書いた白紙で次々質問。「当たり！」全問正解でした。恐るべし“子どもの虫博士！” 広い平らな原っぱにブルーシートで車座になり、解放感が一杯でした。

虫捕りが終了すると子供たちは大満足に見えます。金杉緑地は虫遊びの格好のフィールドですが、それ以外にも今注目を浴びている「里山」の姿も新発見できたと思います。金杉緑地の周辺は、北谷津川と金杉川支流もあり、まさに貴重な都会のオアシススポットとなっています。惜しむらくは、トイレの排水施設があったらなどの思いです。

